

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号  
**実用新案登録第3199378号**  
**(U3199378)**

(45) 発行日 平成27年8月20日 (2015. 8. 20)

(24) 登録日 平成27年7月29日 (2015. 7. 29)

(51) Int. Cl. F I  
**A 4 7 G 19/22 (2006.01)**  
 A 4 7 G 19/22 L  
 A 4 7 G 19/22 Q

評価書の請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号 実願2015-2881 (U2015-2881)  
 (22) 出願日 平成27年6月8日 (2015. 6. 8)

(73) 実用新案権者 505051655  
 浩瀚國際有限公司  
 台湾新北市深坑區北深路三段270巷8號  
 1樓  
 (74) 代理人 110000419  
 特許業務法人太田特許事務所  
 (72) 考案者 高 志宏  
 台湾 新北市 深坑區 北深路三段270  
 巷8號1樓

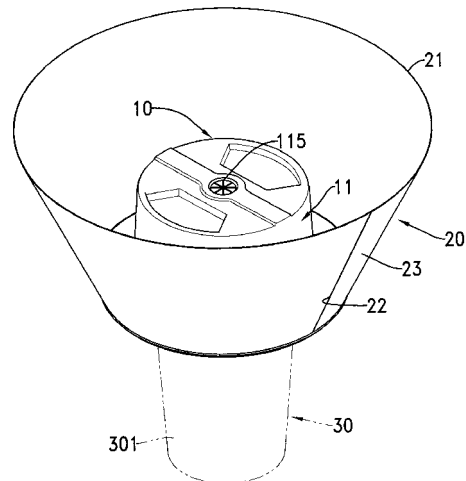
(54) 【考案の名称】 機能付き蓋及びその機能付き蓋を有する容器

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 様々な容器に組み合わせて使用するものであり、簡単で利便性を向上させた機能付き蓋を提供する。

【解決手段】 機能付き蓋は、凸部11及び環形部を備える蓋本体10を有し、その内、凸部が蓋本体に凸設され、環形部が凸部の外周の底縁に延設され、蓋本体と環状部材20との間に収納スペースが備わるので、その収納スペースにお菓子や、チキンナゲット、フライドポテトなどのファストフードを収納することができる。また、その蓋本体がお茶や、ジュース、炭酸飲料などのドリンクの容器に組み合わせると、使用者が一方の手で容器を持ちながら、他方の手で環状部材の内部のお菓子を取って食べることができる。

【選択図】 図1



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

凸部及び環形部を備える蓋本体を有し、その内、該凸部が蓋本体に凸設され、該環形部が凸部の外周の底縁に延設されることを特徴とする機能付き蓋。

**【請求項 2】**

前記蓋本体はさらに、環状壁及び係合部を備え、該環状壁が環形部の外周縁の上方に延設され、該係合部が環状壁の外周の底縁に設けられ、また、該環状壁の底縁の外径が係合部の外径より大きいことを特徴とする請求項 1 に記載の機能付き蓋。

**【請求項 3】**

前記係合部に断面 L 字形の突出部が設けられ、該突出部の内側に内側壁部が設けられると共に、外側に外側壁部が設けられ、該内側壁部の高さが外側壁部の高さより高く、該内側壁部と外側壁部との間に係合溝部が形成され、該係合溝部の幅が環状部材の厚さと同一であることを特徴とする請求項 2 に記載の機能付き蓋。

10

**【請求項 4】**

前記凸部は、凹部と、環状凸縁と、第一溝部と、第一環状掛合凸部と、挿設穴とを備え、その内、該凹部は、凸部の底部に凹設され、該環状凸縁は、凹部の内周面と間隔をおいて、該凹部の底面に延設され、該第一溝部は紙コックを係合するための溝部であり、該環状凸縁と凹部の内周面との間に形成され、該第一環状掛合凸部は、該凹部の内周面に凸設され、該挿設穴は、凸部を貫通するように形成されることを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の機能付き蓋。

20

**【請求項 5】**

前記凸部は、凹部と、第一環状溝部と、第二環状溝部と、第三環状溝部と、組み合わせ部と、挿設穴とを備え、その内、該凹部は、凸部の底部に凹設され、該第一環状溝部は紙コップを係合するための溝部であり、凹部の底面に凹設されると共に、紙コップ掛合部を備え、また、該第二環状溝部はプラスチックコップを係合するための溝部であり、凹部の底面に凹設されると共に、プラスチックコップ掛合部を備え、且つ、該第二環状溝部の直径は第一環状溝部の直径より大きく、該第三環状溝部は缶を係合するための溝部であり、凹部の底面に凹設されると共に、掛合部を備え、且つ、該第三環状溝部の直径は第一環状溝部の直径より小さく、該組み合わせ部は、凹部の底面に凹設されると共に、ペットボトルに掛合するためのペットボトル掛合部を備え、且つ、該組み合わせ部の直径は第三環状溝部の直径より小さく、該挿設穴は凸部を貫通するように形成されることを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の機能付き蓋。

30

**【請求項 6】**

請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の機能付き蓋を有する容器において、蓋本体と、環状部材と、容器部材とを有し、

前記環状部材は、係合部に係合するように、着脱可能に蓋本体に取り付けられると共に、環状本体と、少なくとも 1 つの第一結合部と、少なくとも 1 つの第二結合部とを備え、その内、第一結合部は、環状本体の一方の斜面に設けられ、該第二結合部は、第一結合部と対応するように環状本体の他方の斜面に設けられ、

前記容器部材は、着脱可能に蓋本体に取り付けられ、開口近傍の周縁に上縁部が設けられると共に、内部に収容空間が形成され、また、該上縁部が蓋本体の下側から凸部に組み合わせられることを特徴とする機能付き蓋を有する容器。

40

**【請求項 7】**

さらに蓋を有し、該蓋は、環状部材をカバーするように、蓋本体に組み合わせられることを特徴とする請求項 6 に記載の機能付き蓋を有する容器。

**【請求項 8】**

前記凸部の上面に少なくとも 1 つの凹み部が凹設されることを特徴とする請求項 7 に記載の機能付き蓋を備える容器。

**【考案の詳細な説明】****【技術分野】**

50

## 【0001】

本考案は、特に様々な容器に組み合わされて使用するものであり、簡単で利便性が向上した、機能付き蓋を有する容器に関するものである。

## 【背景技術】

## 【0002】

食べ物や飲み物を購入する時は、一方の手で食べ物を持ちながら、他方の手で飲み物を持つことがよくあるが、このような状況では、飲み物のある場所に置かないと、食べ物を取って食べることができない。

## 【0003】

本願考案の出願人は、台湾特許公開第201420445号に折り畳んで収納可能な容器を有し、その容器は、コップ本体及び折り畳み部材を有し、そのうちコップ本体は、壁部及び収容凹部を備え、該折り畳み部材は、壁部と、複数の折り線と、接着部とを備え、該複数の折り線が折り畳み部材の壁部に設けられることから、それらの折り線に沿って折り畳めば、折り畳み部材を変形させて、接着部をコップ本体の壁部に結合させることができる。

10

## 【先行技術文献】

## 【特許文献】

## 【0004】

【特許文献1】特表2013-501709号公報

## 【考案の概要】

20

## 【考案が解決しようとする課題】

## 【0005】

上述した折り畳んで収納可能な容器によれば、飲料を飲みながら、食べ物を手で取って食べることができるが、そのコップ本体と折り畳み部材とが一体に結合していることから、折り畳んで収納可能な容器を大量に搬送する時、コップ本体と折り畳み部材とを別々に分けることができない。このように、体積が大きく、搬送及び在庫が極めて不便であるので、所定の空間に収容できる数量が少ない。

## 【課題を解決するための手段】

## 【0006】

本考案に係る機能付き蓋は、凸部と、環形部と、環状壁と、係合部とを備える蓋本体を有し、その内、該凸部が蓋本体に凸設され、該環形部が凸部の外周の底縁に延設され、該環状壁が環形部の外周縁の上方に延設され、該係合部が環状壁の外周の底縁に設けられ、また、該環状壁の底縁の外径が係合部の外径より大きいものである。

30

## 【0007】

かかる機能付き蓋において、前記係合部に断面L字形の突出部が設けられ、該突出部の内側に内側壁部が設けられると共に、外側に外側壁部が設けられ、該内側壁部の高さが外側壁部の高さより高く、該内側壁部と外側壁部との間に係合溝部が形成され、該係合溝部の幅が環状部材の厚さと同一であることが好ましい。

## 【0008】

かかる機能付き蓋において、前記凸部は、凹部と、環状凸縁と、第一溝部と、第一環状掛合凸部と、挿設穴とを備え、その内、該凹部は、凸部の底部に凹設され、該環状凸縁は、凹部の内周面と間隔を有して、該凹部の底面に延設され、該第一溝部は紙コップを係合するための溝部であり、該環状凸縁と凹部の内周面との間に形成され、該第一環状掛合凸部は、該凹部の内周面に凸設され、該挿設穴は、凸部を貫通するように形成されることが好ましい。

40

## 【0009】

かかる機能付き蓋において、前記凸部は、凹部と、第一環状溝部と、第二環状溝部と、第三環状溝部と、組み合わせ部と、挿設穴とを備え、その内、該凹部は、凸部の底部に凹設され、該第一環状溝部は紙コップを係合するための溝部であり、凹部の底面に凹設されると共に、紙コップ掛合部を備え、また、該第二環状溝部はプラスチックコップを係合する

50

ための溝部であり、凹部の底面に凹設されると共に、プラスチックコップ掛合部を備え、且つ、該第二環状溝部の直径は第一環状溝部の直径より大きく、該第三環状溝部は缶を係合するための溝部であり、凹部の底面に凹設されると共に、掛合部を備え、且つ、該第三環状溝部の直径は第一環状溝部の直径より小さく、該組み合わせ部は、凹部の底面に凹設されると共に、ペットボトルに掛合するためのペットボトル掛合部を備え、且つ、該組み合わせ部の直径は第三環状溝部の直径より小さく、該挿設穴は凸部を貫通するように形成されることが好ましい。

【0010】

さらに、本考案に係る機能付き蓋を有する容器においては、上述した蓋本体と、環状部材と、容器部材とを有し、

10

そのうち、前記環状部材は、係合部に係合するように、着脱可能に蓋本体に取り付けられると共に、環状本体と、少なくとも1つの第一結合部と、少なくとも1つの第二結合部とを備え、その内、第一結合部は、環状本体の一方の斜面に設けられ、該第二結合部は、第一結合部と対応するように環状本体の他方の斜面に設けられ、

前記容器部材は、着脱可能に蓋本体に取り付けられ、開口近傍の周縁に上縁部が設けられると共に、内部に収容空間が形成され、また、該上縁部が蓋本体の下側から凸部に組み合わせられるものである。

【0011】

かかる機能付き蓋を有する容器において、さらに蓋を有し、該蓋は、環状部材をカバーするように、蓋本体に組み合わせることが好ましい。

20

【0012】

かかる機能付き蓋を有する容器において、前記凸部の上面に少なくとも1つの凹み部が凹設されることが好ましい。

【考案の効果】

【0013】

前記構造によれば、本考案に係る機能付き蓋を有する容器は、以下に示すようなメリットを有する。

1. 環状部材が着脱可能に蓋本体の上部に取り付けられることにより、蓋本体との間に収納スペースが形成されるので、その収納スペースにお菓子や食べ物を収納することができ、また、その容器部材が着脱可能に蓋本体の下部に組み合わせられることにより、容器部材の内部に収容空間が形成されるので、その収容空間にお茶や炭酸飲料などのドリンクを収容することができる。この構成によれば、蓋本体の上部に食べ物を収納すると共に、下部に飲み物を収容することができることから、固体及び液体のものを同時に収納できるので、実用性が高い。さらに、その環状部材または収容部材を必要に応じて蓋本体から取り外して、他の環状部材または収容部材と取り替えることもできることから、食べ物やドリンクを自由に入れ替えることができる。

30

【0014】

2. その蓋本体は、紙コップや、プラスチックコップ、缶、ペットボトルなどの様々な容器に組み合わせる可能であり、尚且つタイプの異なる容器にも組み合わせることができ、また、その蓋本体に中空状の環状部材を取り付けると、その内部に食べ物を収納することができることから、使用者は容器部材のドリンクを飲みながら食べ物を食べることができる。さらに、持ち運ぶ場合には、使用者が片手でドリンクの容器部材を持てば、蓋本体10及び環状部材も一緒に持ち運ぶことができる。

40

【0015】

3. また、その環状部材は、平坦状に展開することができるので、使用しない時に、複数の環状部材を一枚一枚で重ねて大量に収納することができて、収納スペースを節約することができる。

【図面の簡単な説明】

【0016】

【図1】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の第一実施例の斜視図である。

50

【図 2】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の第一実施例の分解斜視図である。  
 【図 3】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の第一実施例の側面視断面図である。  
 【図 4】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の第一実施例の一部の拡大断面図である。  
 【図 5】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の係合部を示す拡大断面図である。  
 【図 6】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の他の係合部を示す拡大断面図である。  
 【図 7】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の環状部材を展開する状態を示す平面図である。

【図 8】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の他の環状部材を展開する状態を示す平面図である。

【図 9】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の第二実施例の斜視図である。

10

【図 10】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の第二実施例の分解斜視図である。

【図 11】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の第二実施例において、紙コップに使用する状態を示す側面視断面図である。

【図 12】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の第二実施例において、プラスチックコップに使用する状態を示す側面視断面図である。

【図 13】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の第二実施例において、アルミ缶に使用する状態を示す側面視断面図である。

【図 14】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の第二実施例において、ペットボトルに使用する状態を示す側面視断面図である。

【図 15】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の第三実施例の部分分解斜視図である。

20

【図 16】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の第三実施例の側面視断面図である。

【図 17】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の第四実施例の斜視図である。

【図 18】本考案に係る機能付き蓋を有する容器の第四実施例の側面視断面図である。

【考案を実施するための形態】

【0017】

図 1 乃至図 3 に示すように、本考案に係る機能付き蓋を有する容器における第一実施例は、蓋本体 10 を有し、その蓋本体 10 の上部に環状部材 20 が取り付けられ、下部に容器部材 30 が取り付けられる。

【0018】

図 2 及び図 5 に示すように、蓋本体 10 は、中心に凸部 11 が凸設され、該凸部 11 の外周の底縁に環形部 12 が水平状且つ環状に設けられ、該環形部 12 の外周縁に環状壁 13 が上方へ延設され、該環状壁 13 の外周面の底縁に係合部 14 が設けられ、該係合部 14 の外径は、環状壁 13 の底縁の外径よりも大きい設計となっている。

30

【0019】

図 2、図 3 及び図 7 に示すように、環状部材 20 は、着脱可能に蓋本体 10 に取り付けられると共に、環状本体 21 と、少なくとも一つの第一結合部 22 と、少なくとも一つの第二結合部 23 とを備え、その内、環状本体 21 は、上側の円周長さが下側の円周長さよりも長いと共に、相対する両側の斜面の長さが同一である、薄型のシートからなり、該第一結合部 22 は、環状本体 21 の一方の斜面に設けられ、該第二結合部 23 は、第一結合部 22 と対応するように環状本体 21 の他方の斜面に設けられ、該第一結合部 22 がそれぞれ対応する第二結合部 23 に組み合わせると、環状本体 21 が中空状且つ円錐台状となる。

40

【0020】

図 3 及び図 5 に示すように、他の実施例においては、その蓋本体 10 の係合部 14 の外周面に更に、環状の突出部 141 が凸設されることから、環状部材 20 を蓋本体 10 に環装する時、環状部材 20 が、下方から蓋本体 10 の係合部 14 を越えて環状壁 13 の外周面に当接しながら、その下縁が突出部 141 に当接する。この構成によれば、環状部材 20 が蓋本体 10 に環装するので、突出部 141 から落下することはない。

なお、その蓋本体 10 は、プラスチックからなることが好ましく、環状部材 20 は、変形可能な紙や薄型のプラスチックシートや、印刷材料からなってもよく、わずかに変形可能

50

な材質であれば、下方から蓋本体 10 に環装しやすくなる。

【0021】

図 6 に示すように、他の実施例においては、蓋本体 10 の係合部 14b が上述の実施例と異なる。つまり、本実施例の係合部 14b は、断面 L 字形の突出部 141b を備え、該突出部 141b の内側に内側壁部 1411b が設けられると共に、外側に外側壁部 1412b が設けられ、該内側壁部 1411b の高さが外側壁部 1412b の高さより高く、該内側壁部 1411b と外側壁部 1412b との間に係合溝部 1413b が形成され、該係合溝部 1413b の幅が環状部材 20 の厚さと同一であり、それによれば、環状部材 20 を蓋本体 10 に装設する場合に、該環状部材 20 が下方から蓋本体 10 に環設して、該環状部材 20 の下縁が係合部 14b の係合溝部 1413b に嵌め込んで突出部 141b に係合する。。

10

【0022】

図 7 に示すものは、本実施例における環状部材 20 の第一結合部 22 及び第二結合部 23 の一例であり、その内、該第一結合部 22 は、掛合部 221 であり、該第二結合部 23 は、受け穴 231 であり、該掛合部 221 は、着脱可能に受け穴 231 に嵌め込まれる。

【0023】

図 8 に示すものは、本実施例における環状部材 20 の第一結合部 22c 及び第二結合部 23c のもう一つの例であり、その内、該第一結合部 22c は、張り合わせ面 221c であり、該第二結合部 23c は、接着面 231c であり、該張り合わせ面 221c が接着面 231c に接着される。なお、前記接着面 231c には、両面テープまたは接着剤が用いられる。

20

【0024】

また、図 7 及び図 8 に示すように、その環状部材 20 は平坦状に展開することができることから、使用しない時は、複数の環状部材 20 を一枚一枚で重ねて大量に収納することができるので、収納スペースを節約することができる。

【0025】

図 2 及び図 3 に示すように、前記容器部材 30 は、着脱可能に環状部材 20 が装着される蓋本体 10 に組み合わせられる。本実施例における容器部材 30 は、飲み物を収容するためのコップや、ビン、缶などの容器であり、開口近傍の周縁に上縁部 31 が設けられ、内部に収容空間 32 が形成され、外周面は印刷可能な材料からなってもよい。また、機能付き蓋を有する容器を使用する時は、一方の手で容器部材 30 を持ちながら、他方の手で蓋本体 10 と環状部材 20 との間に収容されたお菓子を取って食べることができる。

30

【0026】

図 3 及び図 4 に示すものは、本実施例の蓋本体 10 の凸部 11 の一例であり、該凸部 11 は、凹部 111 と、環状凸縁 112 と、第一溝部 113 と、第一環状掛合凸部 114 と、挿設穴 115 とを備え、その内、該凹部 111 は、凸部 11 の底部に凹設され、該環状凸縁 112 は、凹部 111 の内周面と所定の間隔をおいて、凹部 111 の内周面と間隔をおいて、該凹部 111 の底面に延設され、該第一溝部 113 は、紙コックを係合するための溝部であり、該環状凸縁 112 と凹部 111 の内周面との間に形成され、該第一環状掛合凸部 114 は、該凹部 111 の内周面に凸設され、該挿設穴 115 は、凸部 11 の中心を貫通するように形成される。その蓋本体 10 を容器部材 30 に装着する時は、容器部材 30 の上縁部 31 を蓋本体 10 の第一溝部 113 に位置させながら、第一環状掛合凸部 114 に係合することによって、容器部材 30 を蓋本体 10 の凹部 111 に嵌め込む。

40

【0027】

図 9 及び図 10 に示すように、本発明に係る機能付き蓋における第二実施例においては、蓋本体 10a の中心に凸部 11a が凸設され、該凸部 11 の外周面の底縁に環形部 12a がほぼ水平状且つ環状に延設され、該環形部 12a の外周縁に環状壁 13a が上方へ向かって延設され、該環状壁 13a の外周面の底縁に係合部 14a が設けられる。また、図 11 に示すように、その蓋本体 10a の凸部 11a は、凹部 111a と、第一環状溝部 112a と、第二環状溝部 113a と、第三環状溝部 114a と、組み合わせ部 115a と、挿設穴 116a とを備え、その内、該凹部 111a は、凸部 11a の底部に凹設される。

50

## 【0028】

図11に示す本実施例の機能付き蓋は、主に、紙コップに使用するものであり、その第一環状溝部112aは、凹部111aの底面に凹設され、該第一環状溝部112aの周縁にさらに、紙コップを係合するための溝部である紙コップ掛合部1121aが設けられ、前記容器部材30は、紙コップ301であり、上縁部31に紙コップ上縁部3011が設けられ、該紙コップ301が紙コップ上縁部3011を介して第一環状溝部112aに位置しながら、紙コップ掛合部1121aに掛合される。

## 【0029】

図12に示す本実施例の機能付き蓋は、主に、プラスチックコップに使用するものであり、その第二環状溝部113aは、凹部111aの底面に凹設され、該第二環状溝部113aの周縁にさらに、プラスチックコップを掛合するための溝部であるプラスチックコップ掛合部1131aが設けられ、前記容器部材30は、プラスチックコップ302であり、上縁部31にプラスチックコップ上縁部3021が設けられ、該プラスチックコップ302がプラスチックコップ上縁部3021を介して第二環状溝部113aに位置しながら、プラスチックコップ掛合部1131aに掛合される。なお、本実施例における第二環状溝部113aの直径は、第一環状溝部112aの直径より大きい設定となっている。

10

## 【0030】

図13に示す本実施例の機能付き蓋は、主に、缶に使用するものであり、その第三環状溝部114aは、凹部111aの底面に凹設され、該第三環状溝部114aの周縁にさらに、缶を係合するための溝部である缶掛合部1141aが設けられ、前記容器部材30は、アルミ缶303であり、上縁部31にアルミ缶上縁部3031が設けられ、該アルミ缶303がアルミ缶上縁部3031を介して第三環状溝部114aに位置しながら、缶掛合部1141aに掛合される。なお、本実施例における第三環状溝部114aの直径は、第一環状溝部112aの直径より小さい設定となっている。

20

## 【0031】

図14に示す本実施例の機能付き蓋は、主に、ペットボトルに使用するものであり、その組み合わせ部115aは、凹部111aの底面に凹設され、該組み合わせ部115aの周縁に、ペットボトルを掛合するための溝部であるペットボトル掛合部1151aが設けられ、前記容器部材30は、ペットボトル304であり、上縁部31にペットボトルの首部が設けられ、該ペットボトル304が首部を介して組み合わせ部115aに位置しながら、ペットボトル掛合部1151aに掛合される。なお、本実施例における組み合わせ部115aの直径は、第三環状溝部114aの直径より小さい設定となっており、前記凸部11aの中心を貫通するように挿設穴116aが形成されている。

30

## 【0032】

図15及び図16に示すように、本考案に係る機能付き蓋における第三実施例においては、環状部材20が着脱可能に蓋本体10bの上部に環装され、その容器部材30は、着脱可能に蓋本体10bの下部に装着され、該蓋本体10は、中心に凸部11bが凸設され、該凸部11bの上面中心に組立凸柱111bが凸設され、該組立凸柱111bの中心に貫通穴112bが形成され、該凸部11bの上面且つ組立凸柱111bの周囲に少なくとも1つの凹み部113bが凹設される。尚、本実施例における凸部11bの上面に3つの凹み部113bが凹設されることが好ましく、その凹み部113bにケチャップなどの調味料を充填したり収容したりすることができる。

40

## 【0033】

本実施例はさらに蓋40を有し、その蓋40は、環状部材20をカバーするように、蓋本体10bに組み合わせられる。また、前記蓋40は、折り線と、固定部41と、開き部42とを備え、該折り線は、蓋40を横断するように設けられ、該折り線により蓋40を固定部41と開き部42とに区画し、そのうち固定部41における、組立凸柱111bと対応する箇所組立穴411が形成され、該組立穴411を介して組立凸柱111bに係合され、一方、該開き部42の外周縁に引き部421が延設され、該引き部421を引き上げると、開き部42を開くことができる。

50

## 【0034】

本考案に係る機能付き蓋を使用する時は、蓋本体10の上部に環状部材20を取り付けると共に、下部に容器部材30を取り付けることによって、蓋本体10と環状部材20との間に収納スペースが備わるので、その収納スペースにお菓子や、チキンナゲット、フライドポテトなどのファストフードを収納することができ、また、その容器部材30にお茶や、ジュース、炭酸飲料などのドリンクを収容することもできる。このようにこの構成によれば、使用者が一方の手で容器部材30を持ちながら、他方の手で環状部材20の内部のお菓子を取って食べることができるので、使用上非常に便利であり、また、蓋本体10の挿設穴115からストローを挿し込めば、容器部材30内のドリンクを飲むことができる。

10

## 【0035】

さらに、前蓋本体10の凸部11bの上面に凹み部113bが凹設されることから、その凹み部113bにファストフードのケチャップなどの調味料を収納することができ、片手でも調味料を付けて食べることができる。一方、持ち運ぶ場合は、蓋40を用いて環状部材20をカバーするように蓋本体10に組み合わせれば、食べ物を綺麗に保存することができ、食べる時には、引き部421を引き上げて開き部42を開けば、中の食べ物を簡単に取ることができる。

## 【0036】

図17及び図18に示すように、本考案に係る機能付き蓋における第四実施例は、殆ど第一実施例と同一であるが、環状壁13及び係合部14を有しないと共に、蓋本体10dと環状部材20dとが一体に成形されることが異なる。そのうち、該蓋本体10dは、中心に凸部11dが凸設され、該凸部11dの外周の底縁に環形部12dが水平状且つ環状に設けられ、該凸部11dの上面中心に貫通穴112dが形成され、該凸部11dの上面かつ貫通穴112dの周囲に少なくとも一つの凹み部113dが凹設され、該凹み部113dにケチャップなどの調味料を充填したり収容したりすることができる。該環状部材20dは、蓋本体10dと一体に形成され、また、該環状部材20dにおける、第一結合部22dが第二結合部23dに組み合わせることによって、中空状且つ円錐台状の環状本体21dを構成し、該環状本体21dの底縁が粘着手段やプレス加工、一体成形加工などの技術手段による蓋本体10dの環形部12dと一体に形成される。その容器部材30dは、着脱可能に環状部材20dが装着される蓋本体10dに組み合わせられる。

一方、本実施例の蓋本体10d及び環状部材20dは、古紙パルプまたは再生パルプを用いて一体形成のパルプモールドであってもよい。

20

30

## 【符号の説明】

## 【0037】

- 10、10a、10b、10d 蓋本体
- 11、11a、11b、11d 凸部
- 111、111a 凹部
- 111b 組立凸柱
- 112 環状凸縁
- 112a 第一環状溝部
- 112b、112d 貫通穴
- 1121a 紙コップ掛合部
- 113 第一溝部
- 113a 第二環状溝部
- 113b、113d 凹み部
- 1131a プラスチックコップ掛合部
- 114 第一環状掛合凸部
- 114a 第三環状溝部
- 1141a 缶掛合部
- 115 挿設穴

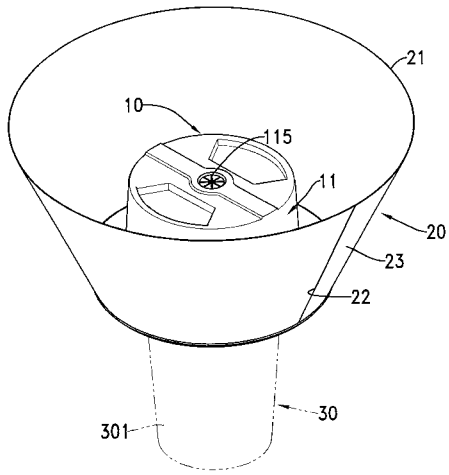
40

50

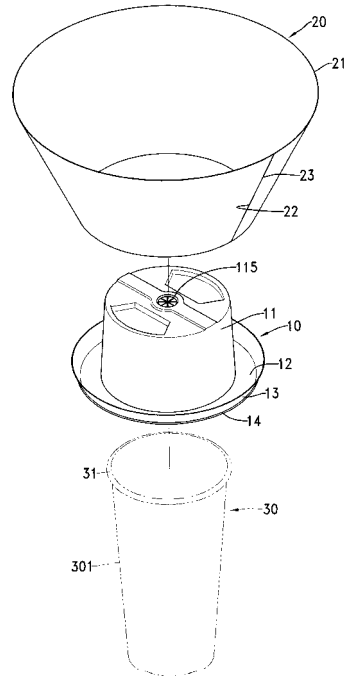


1 1 5 a	組み合わせ部	
1 1 5 1 a	ペットボトル掛合部	
1 1 6 a	挿設穴	
1 2、1 2 a、1 2 d	フレンジ	
1 3、1 3 a	環状壁	
1 4、1 4 a、1 4 b	係合部	
1 4 1、1 4 1 b	突出部	
1 4 1 1 b	内側壁部	
1 4 1 2 b	外側壁部	
1 4 1 3 b	係合溝部	10
2 0、2 0 d	環状部材	
2 1	環状本体	
2 2、2 2 c、2 2 d	第一結合部	
2 2 1	掛け部	
2 2 1 c	張り合わせ面	
2 3、2 3 c、2 3 d	第二結合部	
2 3 1	受け穴	
2 3 1 c	接着面	
3 0	容器部材	
3 1	上縁部	20
3 2	収容空間	
3 0 1	紙コップ	
3 0 1 1	紙コップ上縁部	
3 0 2	プラスチックコップ	
3 0 2 1	プラスチックコップ上縁部	
3 0 3	アルミ缶	
3 0 3 1	アルミ缶上縁部	
3 0 4	ペットボトル	
4 0	蓋	
4 1	固定部	30
4 1 1	組立穴	
4 2	開き部	
4 2 1	引き部	

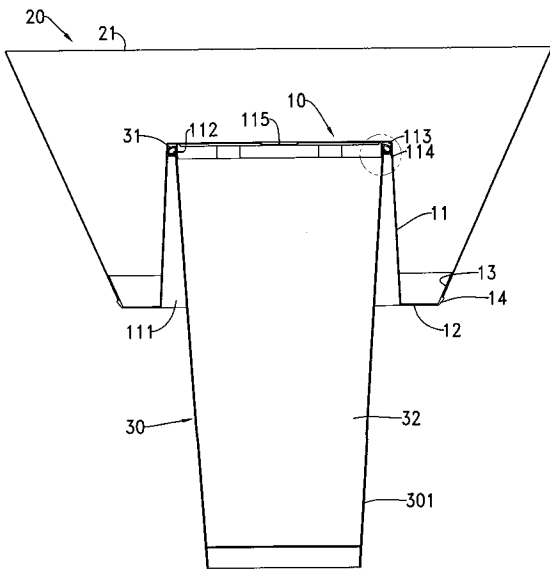
【 図 1 】



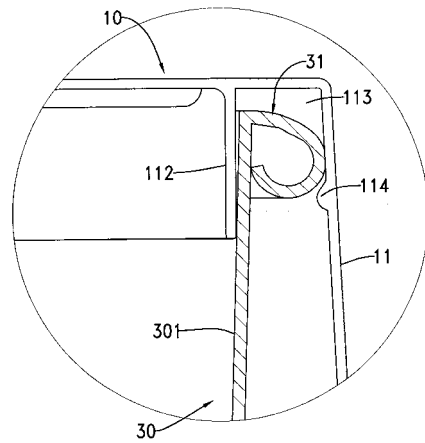
【 図 2 】



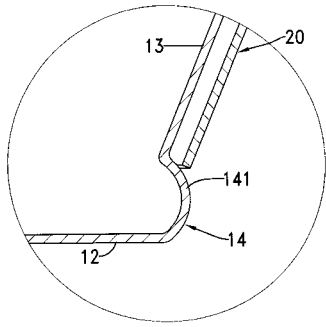
【 図 3 】



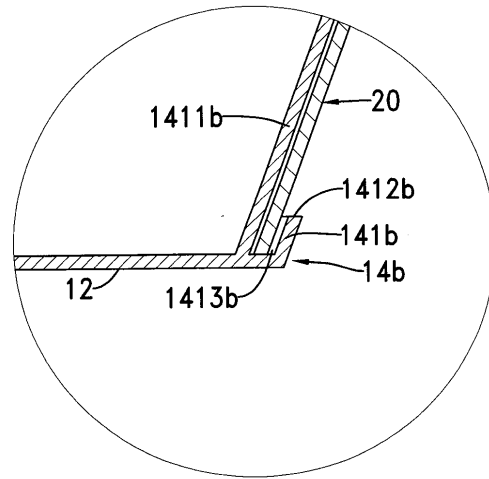
【 図 4 】



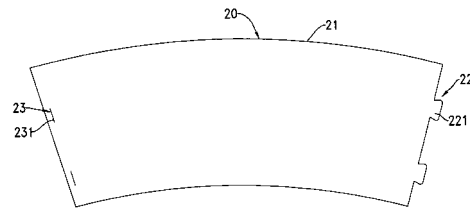
【 図 5 】



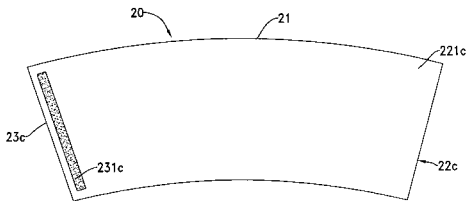
【 図 6 】



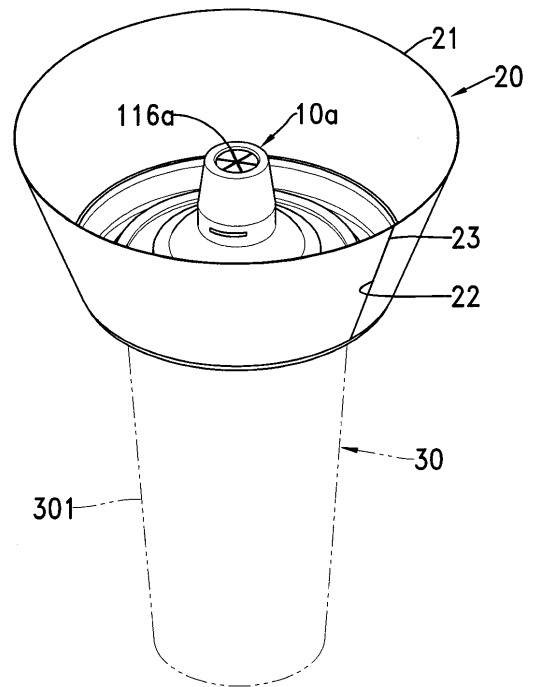
【 図 7 】



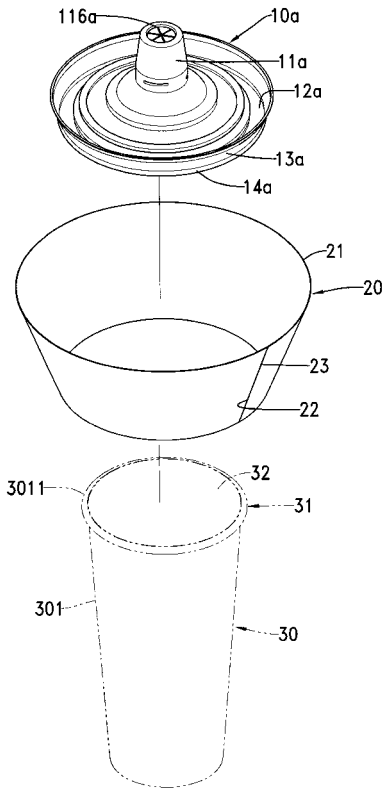
【 図 8 】



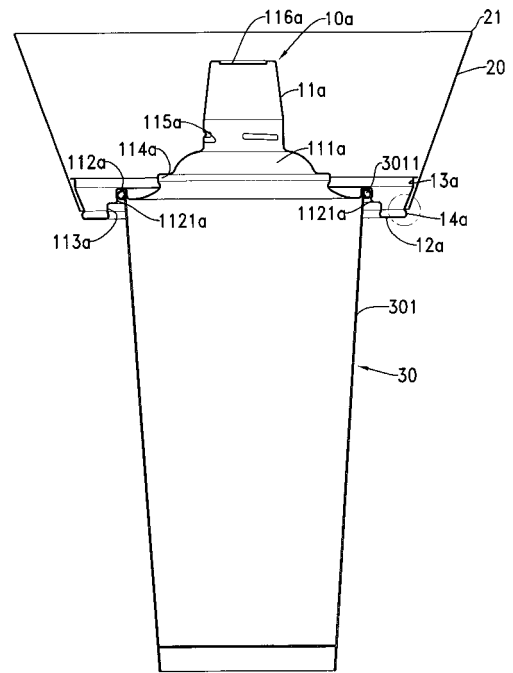
【 図 9 】



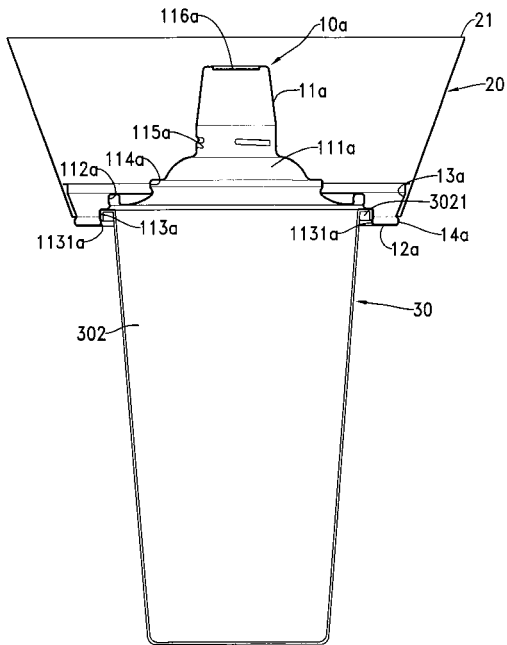
【図 10】



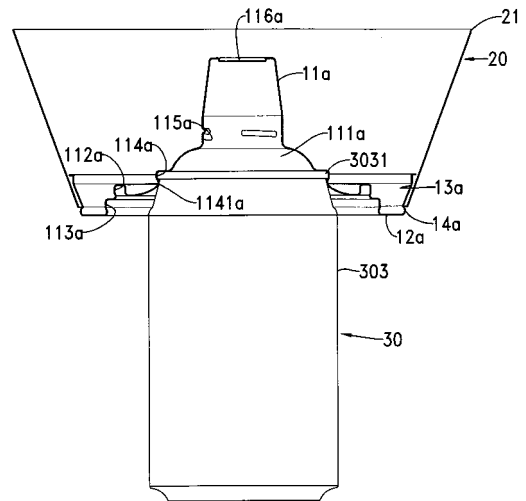
【図 11】



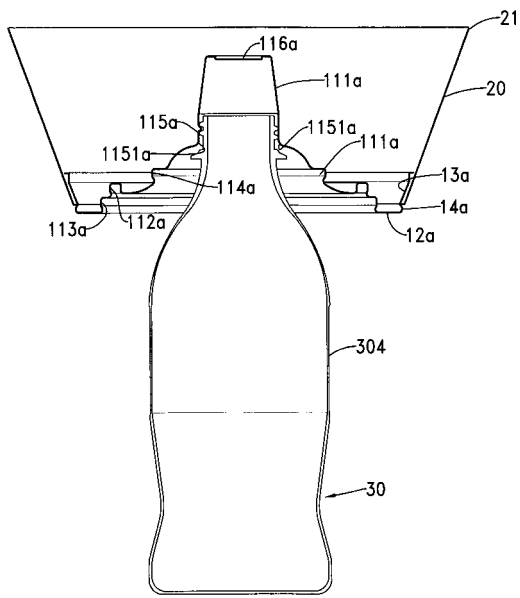
【図 12】



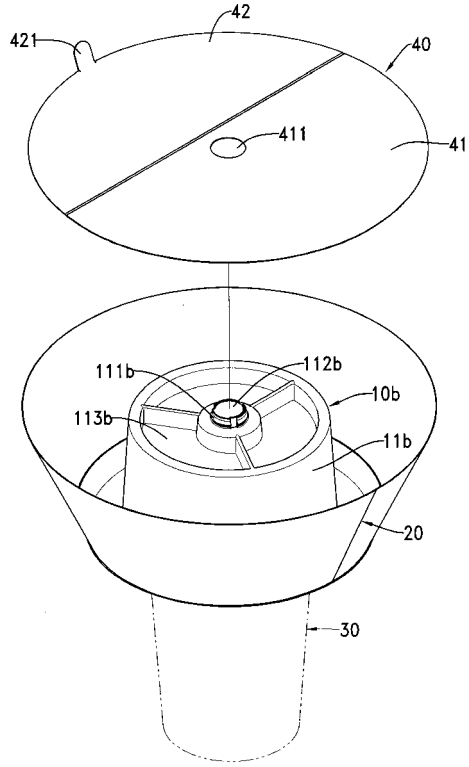
【図 13】



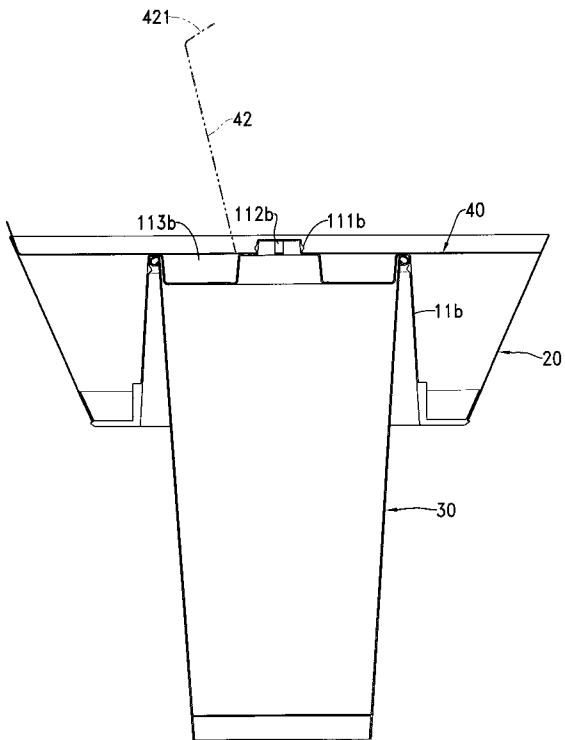
【 図 1 4 】



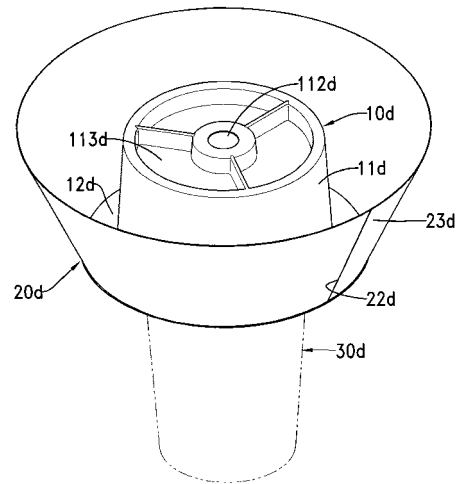
【 図 1 5 】



【 図 1 6 】



【 図 1 7 】



【 図 1 8 】

